

# 2020 年度事業計画

## 1. 組織の運営

新たな事業開発・展開が課題であり、世代交代も意識し、社会的な役割を担うことができるように理事会や事務局会議で議論してすすめます。また、地域福祉や防災・災害ボランティアといった新たなテーマでの活動にも積極的に取り組みます。

認定 NPO 法人として、NPO 法を順守し、情報開示を積極的にすすめるとともに、活動への理解、共感を広め、継続して寄附や賛同会員を募り地域づくりへの参加を働きかけます。認定 NPO 法人の認定 4 年目となり、PST をクリアするためにも理事会での活発な議論をすすめます。

新規の賛同会員加入を呼びかけ、10 団体、寄付者 20 名増を目標とします。

- ・ 理事会は、年 5 回開催します。
  - 第 1 回：7 月 16 日（木）・年間事業計画の具体的な進め方について
  - 第 2 回：9 月 17 日（木）・中間報告と下期の進め方について
  - 第 3 回：12 月 17 日（木）・年度末までの計画について
  - 第 4 回：3 月 18 日（木）・今年度報告、次年度計画について
  - 第 5 回：5 月 20 日（木）・第 20 回総会議案について
- ・ 事務局運営は、各事業担当を決め、事務局会議で企画、進捗確認、課題等を検討します。事務局会議は毎月 2 回開催、各事業の主旨、成果目標を確認し、共有、議論する場とします。

## 2. 相談事業・NPO の支援事業

### ① 相談事業

- ・ 団体運営に関わる相談は常時受付け、内容によっては専門家(税理士、社会保険労務士、弁護士)の協力を得て、専門的な相談案件に対応します。
- ・ NPO の事務力(会計処理、労務管理、法務局・所轄庁手続き等)をサポートするために、より専門性を磨きます。
- ・ 「緊急事態宣言」による外出自粛や休業要請に対応する国・県の支援施策について、千葉県、全国の中間支援団体ネットワークと情報交換しながら、随時情報提供します。また、年度末事務処理(総会開催、事業報告書類提出、登記等)についての問い合わせ・相談が増えています。
- ・ NPO 個別の運営課題について、出張相談対応「出かけてサポート」事業を実施します。
- ・ 自治体の市民協働、市民活動推進に関わる施策やセミナー企画等の相談に対応します。
- ・ ちばソーシャルビジネス支援ネットワークに参画し、公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金、日本政策金融公庫、中央労働金庫、千葉信用金庫、銚子信用金庫、東京ベイ信用金庫と協力し、NPO の資金調達(助成金、融資)、設立等の相談に対応します。

### ② 講座事業

講座事業については、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、オンライン開催を実施します。ただし、未経験の取り組みであり、講師との打ち合わせやオンラインシステムに慣れるようにします。

- ・ 「千葉県市民活動団体マネジメント事業」に企画提案、NPO や法人の事務力を高め、運営がスムーズにできるよう理解を深めます。また、講座終了後に個別相談でサポートできるようにします。
- ・ NPO 法人の社会的な信用度を向上させるため適正な運営ができる団体を増やします。
- ・ 「PanasonicNPO/NGO 組織基盤強化オンラインセミナー」を日本 NPO センターと協力し開催します。

- ・千葉県ボランティア参加促進事業に企画提案します。昨年度実施した「ちばプロボノチャレンジ」事業のしくみを活用し、働く世代にもボランティア参加を呼びかけ、NPOの課題解決とボランティア体験を提供します。

### ③ 講師派遣

- ・市民大学などで企画するシニアの地域活動参加を促すための「市民活動セミナー」に講師を派遣します。
- ・行政の協働研修等の講師派遣を行います。また、千葉県協働アドバイザーに登録します。

### ④ 新型コロナウイルス感染拡大への対応支援

「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関する千葉県内NPO法人等緊急アンケート」調査を実施、県、千葉市へ「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」を提出します。資金の確保、ICTの活用支援等、県内NPOの支援を継続します。

## 3. 地域づくりのコーディネート事業

### ① 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業

みんなで地域づくりセンター運営事業は10年目を迎え、コーディネーター、サポートスタッフ6名体制で市政推進課と協働して取組みます。コーディネーター会議は毎月2回開催し、事業の企画・進捗管理・課題の共有をもとに日常業務をすすめます。また、センター利用者アンケートを行い、今後のセンター事業に反映します。例年実施してきた「夏休み小学生ボランティア体験」、「大きなテーブル春」は中止とします。

- ・まちの魅力発信と市民参加・協働をすすめる拠点として、市民ニーズを掘りおこし、市民と共有し、具体的な活動をコーディネートします。
- ・地域の高齢化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートします。四街道市地域支え合い推進会議に参画し、高齢者支援課、地域包括支援センター、社会福祉協議会、関係団体などと連携して課題解決を進めます。自治会情報交換会を開催します。
- ・子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートします。「第2回子ども食堂交流会・学習会」「子ども見守りサポーター養成講座」を開催します。子どもサポートプロジェクトで作成した「こどもたちのいばしょさがし」チラシを全校に配布、安心できる「場」の質・量をさらに確保できるよう地域に働きかけます。
- ・市民活動スキルアップ講座や地域づくりサロンなどを開催します。「思いを伝える広報を学ぼう」2回、「市民団体の寄付集め」、「まちにとけこむアート活動」
- ・「コラボ四街道」（協働事業提案制度）4事業のサポート、市民活動団体からの新しい企画提案を促すために「コラボ塾」を開催します。
- ・「みんなで災害支援ネットワーク会議」の立ち上げに向け、市民団体、行政、社協（ボランティアセンター）との連携を図り、市内外の事例等の情報収集を行います。
- ・情報誌『みんなで』（24号～27号）は、地域の課題をよりわかりやすく知らせ、気づき関わる市民を増やすために発行します。広報ツールとしてホームページ、ブログ、Facebook ページ、メールマガジンなどによる情報発信を充実させます。

### ② 福島県避難者支援、相談事業

- ・浪江町が発行する「広報なみえこころ通信」の取材協力をします。
- ・「福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金事業」では、千葉県内に避難している福島県民約2,158人を中心とする東日本大震災による東北からの避難者を支援します。また、県内の支援活動団体間でイベント、サロン開催等の支援情報や避難者の状況について情報交換し、

支援力を高めます。県内の避難者に配布する情報紙「縁 j o y」を隔月（No.72～No.77）各 2,000 部発行します。また、第 9 回「縁 j o y・東北」を 11/7 に千葉市きぼーるアトリウムで開催予定です。

- ・「福島県県外避難者への相談・交流・説明会」事業を継続し、福島県から千葉県内に避難している人たちへの情報提供、相談対応を行うとともに、交流会等を開催します。
- ・福島県避難者住宅確保・移転サポート事業では、自主避難者家賃補助終了に伴う住宅に関する相談を受け、福島県担当者や千葉県社協県外相談員と連携して取組みます。

### ③ 多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営事業

- ・開設から 7 年経過、自主事業 2 年目となり運営経費の課題はありますが、当初からの目的のひとつ「関わる市民の主体性を育て、地域住民のコミュニティを豊かにすること」について、担い手や参加者も多様に広がり定着しています。さらに高齢者、子ども、子育て世代が主体的に「場」を活用できるようすすめます。

引き続き介護予防の健康体操、オレンジカフェ、シニア英会話、子育て世代向けヨガ、「みんなでランチ」等、居場所を通じた人々の交流を図ります。

- ・J F S A やせっけんの街、県内の福祉事業所 6 団体の協力を得て、販売事業を継続します。
- ・収支バランスの取れた運営を目指し、スペース利用を促すとともに、バザーを開催する等、収入の確保に努めます。
- ・生活クラブ千葉グループ協議会の「街の縁側」に登録します。

### ④ 富里市まちづくりコーディネーター育成事業

とみさと市民活動サポートセンターのコーディネーター（市契約職員 5 名）とともにセンター運營業務をとおした人材育成を進めます。市各課、まちづくり協議会、地縁団体、N P O、事業者からのまちづくりに関する相談対応や市民活動団体のマネジメントセミナーや協働まちづくり講座の企画運営、情報発信（ニュースレター 4 回発行、Facebook、Instagram 更新）、寄付募集「ちい寄付」、地域活性化プログラム等をコーディネーター会議で協議し、実施します。今年度は、毎月 7 時間以上の指導時間とします。

### ⑤ 福祉作業所ものづくり応援プロジェクト

福祉施設のものづくりを応援、販路拡大、関係する団体相互の情報交換・交流をすすめるために Facebook ページでの情報発信をします。また、地域創造ネットワークちばが行う(株)生活クラブ・スピリッツと連携しカタログ掲載事業に協力します。

### ⑥ 千葉台風・豪雨災害支援活動について

千葉南部災害支援センターは災害後に N P O 法人ディープデモクラシー・センターとともに立上げ、N P O クラブは他地域の情報収集、県内への現地の情報提供等を行います。

- ・Yahoo! 基金 2020 年度被災地復興調助成「現地ニーズを把握し、実践するコース」「千葉南部災害支援センターを拠点とした南房地域の復旧・復興活動支援事業」が採択され、南房 7 市 1 町の社会福祉協議会及び県担当課等への状況と対策についてのヒアリング、現地の農業従事者等への調査・ヒアリングの実施、倒木処理やブルーシート展張等を担う人材育成プログラムを実施します。

### ⑦ ボランティア推進団体会議「民ボラ in 大阪」開催について

民間の独自性、独立性を守りながら行政等との官民協働や市民に対してどのような役割を果たしていくかという視点で毎年度 1 回開催、今年度は大阪での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催時期が未定となっています。

### ⑧ 第 2 回つながる経済フォーラムちば（社会的連帯経済フォーラム）開催について

世話人会に参加、県内 N P O や中小企業、福祉事業団体と連携して「誰もが幸せになることをめざす経済活動」を県内に広げます。

開催日時：10月予定 @千葉大学法政経学部 206 教室

内容テーマ：「地域をつくる、きり拓くローカル企業」

講演 ・飯田大輔さん 「福祉」×「産業」×「環境」×「地域」の事業化

・諏訪寿一さん 「千葉」にとことんこだわる事業の展開

・熊谷市長 「つながる経済」を支える行政のあり方

千葉市は事業担当部局（市民局、経済農政局等）と連携

パネルディスカッション・コーディネーター池田徹さん・コメンテーター伊丹健太郎さん

#### ⑨ 風の村安心システム地域づくり(コミュニティデザイン)事業

社会福祉法人生活クラブから受託し、特養風の村がある八街市東吉田地域でコミュニティデザインの手法により、住民の主体性の掘り起こす地域づくりを行います。

### 4. 広報事業

- ・ 団体リーフレットの記載内容を見直し、1,000部作成します。
- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」各号テーマを決めて編集、年4回（4月、7月、10月、1月）各1,000部を発行します。会員に配布する以外に県内市町村市民活動サポートセンターや担当窓口、全国の中間支援組織に送付します。
- ・ メールマガジンは月2回115名宛に配信とし、掲載する情報は会員、行政、関係機関から広く有益な情報を収集し提供します。（新型コロナ支援施策・制度、助成金）
- ・ 千葉の公益ポータルサイト「ちばNPO情報館」の登録団体（117団体）には、公開情報の更新を呼びかけ、メールによる情報提供を行います。
- ・ 団体ホームページ、ブログ「NPOクラブのゆかいな仲間たち」「縁joy東北～エンジョイ東北」を適時更新し、活動状況等を伝え、寄付や会員獲得にもつながるよう努めます。
- ・ 団体のFacebookページでは、主催するイベント、セミナー等の開催案内や活動状況を発信し、広く参加を呼びかけます。（Twitterに連携、自動投稿します）
- ・ 千葉日報社の千葉の情報ポータルサイト「ちばとび！チャンネル」内の「CHIBAKARA～ちばからチャンネル」でより広い層が市民活動に関心を持てるよう情報発信を行います。

### 5. 他組織、他団体の事務局運営事業

- ・ ちばNPO協議会の事務局を担当してきましたが、幹事会、会員25団体と今後の運営について議論していきます。
- ・ NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局を受託し、第10回ちばユニバーサル農業フェスタを12月5日（土）に四街道市文化センターで開催、また昨年度に引き続き発酵の里こうざき道の駅で3回目を開催します。また、ユニバーサル農業の課題である販路拡大を目的に、(株)生活クラブ・スピリッツのカタログ事業に商品を紹介します。

### 6. 行政、他組織との連携・協力事業

- ・ 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金に理事として就任、連携、協力します。県内の地域課題の調査や解決策の検討をすすめるプロジェクトや寄付募集、ネットワークづくりに協力します。寄付募集と助成は「新型コロナウイルス感染症対策 子どもの居場所緊急支援寄付募集」、引き続き「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」とします。法人運営にかかる資金調達が課題となっており、企業、行政等とのコラボ事業をすすめます。
- ・ 生活クラブ千葉グループ協議会に参画し、情報交換、交流し地域づくりに貢献します。
- ・ 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参画し、県・市町の市民活動センターや中間支

援組織との連携を図り、支援力の強化をすすめます。

- 千葉市男女共同参画推進事業者（ハーモニー推進事業者）として団体登録します。
- 千葉県社会福祉協議会の政策調整委員、千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員、千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会委員に就任し、千葉県内の地域福祉の推進に協力します。
- 県・市の市民参加、協働関連の委員等の就任要請に対応します。関連する施策や制度について中間支援組織の立場から発言し、協働による地域づくりに貢献します。

松戸市協働のまちづくり協議会、印西市まちづくりファンド選考委員会、習志野市市民協働推進委員会、大網白里市住民協働事業審査会、千葉市緑区補助金審査アドバイザー、千葉市中央区補助金審査アドバイザー、千葉県県民活動推進懇談会、市原市市民活動・協働推進委員会